

発達障害の特性を持った看護学生の支援に関する文献検討

田辺 大介（星槎大学大学院 教育学研究科教育学専攻 博士後期課程）

I. はじめに

本研究ではわが国の発達障害の特性を持った看護学生支援に関する研究の現状を明らかにし、今後の研究課題を検討する事を目的とする。それにより、発達障害の特性を持った看護学生支援の研究疑問の明確化が可能となり、発達障害の特性を持った看護学生支援の効果的な研究を行う事が期待できる。

II. 研究方法

1. 論文の検索方法

医中誌 web および CiNii で「看護学生」「発達障害」「合理的配慮/支援」をキーワードに、2024年3月29日に検索を実施した。さらに対象文献を増やすために、文献検討の先行研究からハンドサーチを行った。

2. 分析手順

著者、年代、論文テーマ、研究方法、研究対象、掲載誌について表に整理した。さらに分析対象の研究目的および結果から、研究内容のコードを作成した上で意味内容の類似性に従いカテゴリー化し、発達障害の特性を持った看護学生支援の研究の内容を整理した。カテゴリー化については、研究指導者のスーパーバイズを受けながら妥当性に留意して実施した。

III. 結果

抽出された122件の文献のうち、発達障害の特性を持った看護学生の支援について記述されている13件を対象文献とした。

発達障害の特性を持った看護学生支援の研究の現状としては、【発達障害の特性を持った看護学生支援】【発達障害の特性を持った看護学生の現状】の2つに分類された。

【発達障害の特性を持った看護学生支援】では、『発達障害の特性を持った看護学生への修学支援』や『発達障害の特性を持った看護学生への教員の関わり』、『発達障害の特性を持った看護学生への認識』、『発達障害の特性を持った看護学生の教育支援上の困難』等の《発達障害の特性を持った看護学生への支援と困難感》と、『発達障害の特性を持った看護学生支援を行う看護教員への研修』等の《発達障害の特性を持った看護学生支援を行う看護教員への支援》が挙げられた。

【発達障害の特性を持った看護学生の現状】では、『発達障害の特性を持った看護学生の演習・実習での体験』といった《発達障害の特性を持った看護学生の学び》と、『発達障害の特性を持った看護学生が求める支援』や『発達障害の特性を持った看護学生の困難感』といった《発達障害の特性を持った看護学生が求める支援と困難感》が挙げられた。

IV. 考察

今後の研究課題として、看護教員に対する心理的支援や、看護教員が相談できる環境・体制の確保に関する視点を持つこと、発達障害の特性を持った看護学生への支援に関する研修体制や相談場所の検討、インクルーシブの視点を持った看護学生支援を検討していくことが示唆された。